

高病原性鳥インフルエンザ

現地対策班 防疫支援グループ

防疫作業マニュアル

## 目 次

1	防疫支援センター	1
( 1 )	設置の目的と設置条件	
( 2 )	グループ構成（殺処分開始前（準備））	
( 3 )	殺処分開始前の準備	
( 4 )	殺処分開始以降の運営	
2	発生農場サポート拠点	6
( 1 )	設置の目的と設置条件	
( 2 )	グループ構成（殺処分開始前（準備））	
( 3 )	殺処分開始前（遺伝子検査陽性時以降）	
( 4 )	殺処分開始以降	

< 添付資料 >

- ・家畜防疫作業発生時における救護対応マニュアル
- ・鳥インフルエンザ発生時における健康調査対応マニュアル

# 防疫支援グループ

## 1 防疫支援センター

### (1) 設置の目的と設営条件

#### ア 目的

- ・防疫作業者の集合場所
- ・防疫作業者等の健康チェック、作業準備、消毒、更衣
- ・防疫作業者等の移動のためのバスの運営・管理
- ・発生農場のサポート拠点と消毒ポイントの資材の受入れ、管理
- ・発生地グループと家畜防疫対策班との連絡窓口

#### イ 設営条件

- ・発生農場に近い
- ・主に体育館や公民館の使用を想定
- ・大型車両と普通車 300 台以上の駐車スペースが確保できる（可能な限り、団体動員、建設業協会（バス等）、人材派遣動員、県職員動員（直接現地）の 2 班分が可能な駐車場台数を確保）。

### (2) グループ構成(殺処分開始前（準備）)

リーダー	畜産振興課 2 名
サブリーダー	現地農林事務所 2 名
構成員	家畜保健衛生所 2 名 管轄保健所 2 名 現地農林事務所 3 名 感染症対策課 1 名 市町村 4 名

### (3) 殺処分開始前の準備

防疫支援センターの設営、発生地グループの要員と資材の受け入れ準備を以下のように行う。

#### ア 防疫作業者の受入準備

リーダーは管理グループ及び発生農場サポート拠点のリーダーと連絡を取り、防疫作業者の人数等を把握する。

#### イ 防疫資材の受け入れ準備

資材の受入れと確認、個数等の管理、資材の置き場所の配置図作成等を行う。また、発生農場やサポート拠点から不足している資材の情報があれば、管理グループ、家畜防疫対策班資材調達グループへ連絡し、作業が滞りなく進むように調整する。

#### ウ 防疫支援センター運営準備

(ア) 防疫支援センター駐車場等の準備

防疫支援センターには、防疫作業者が移動するバス等、多くの車両が入り出る。このため駐車場出入口、車両消毒場所、バス専用駐車場、その他グループ員の車両駐車場等を立て看板等でわかりやすく表示する。

#### (イ) 消毒機材の設置

##### 車両消毒

防疫支援センター敷地への入口付近に動力噴霧器を2台設置する。

##### 靴底消毒

- ・バス乗降場所に靴底消毒用の手押し消毒ポンプを4台用意する
- ・バス乗降場所から手洗い場所までの通路に消毒マット等を準備する

##### 手指の消毒

防疫支援センターとなる建物の手前に、手洗い・手指消毒コーナーを設置する。

- ・屋外に手洗い場所がない場合は、新たに簡易な流し台等の手洗い設備、またはポリタンクを利用した手洗い場所を設置する
- ・手洗い場所にはポンプ式の石鹼、ペーパータオル、ごみ袋、手指用消毒薬を準備する

##### うがい

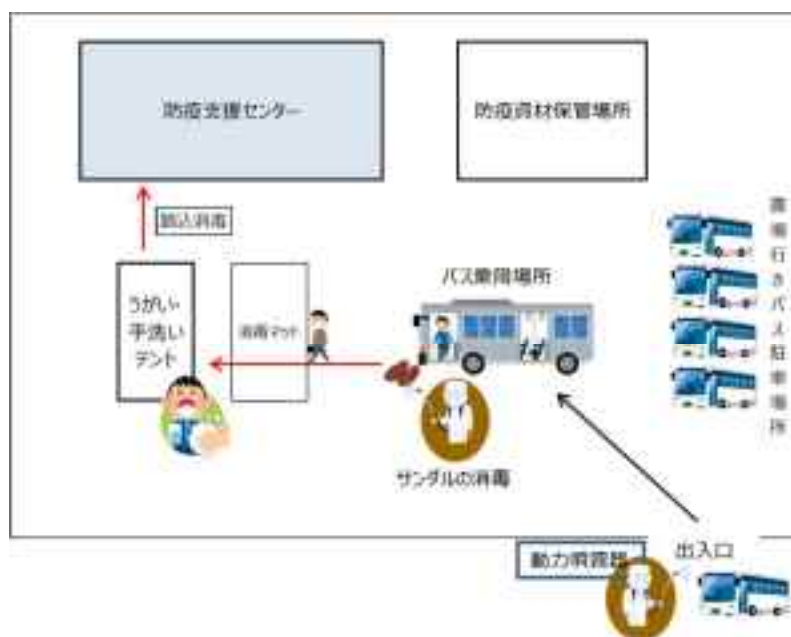
- ・テント1張り、机3台を設置する。
- ・うがい薬の調整を行う。
- ・紙コップ、紙コップを捨てるごみ袋、使用済みうがい液用のポリバケツを準備する。

##### 建物に出入りする際の消毒

玄関(あるいは出入口と設定したドア付近)に建物に出入りする人の靴底消毒、全身消毒の準備をする。

- ・靴底消毒：消毒マットあるいは踏込消毒槽を設置する。
- ・全身消毒：農場から戻った作業者の入口となる場所にフォグマスターを設置する。

## 防疫支援センター外 イメージ図



### (ウ) 防疫支援センター施設内部の準備

防疫支援センターは主に受付、荷物預かり、健康確認・救護、防疫資材の配布、及び更衣を行う。設営は以下のとおり。

#### 防疫作業者の履物

防疫作業者の履物は、各自レジ袋等に入れて防疫支援センター内に持ち込むようにする。

- ・レジ袋等、靴を入れる袋の準備
- ・案内表示の準備

#### 受付

防疫作業者の受付を行う。

- ・机 3 台、ボールペン 20 本、受付簿を準備
- ・受付名簿を家畜防疫対策班や管理グループから入手し、それらを基に動員県職員、協定派遣団体職員、他県獣医師などの職員番号、所属、氏名を確認・チェックする。名簿に無い人員についてはその都度確認して記入する。

#### 手荷物預かり

手荷物預かり場所を設置する。三角コーンなどを利用して仕切る。



手荷物預かり

健康確認・救護コーナー

- ・防疫作業者の健康確認・救護のために設置する。
- ・「家畜伝染病発生時における救護対応マニュアル」(別添)に基づき準備をする。
- ・健康確認：事務職2名を配置。  
机2台、ボールペン20本、油性マジック2本、クリアファイル20枚
- ・救護室：保健師等2名を配置。委託業者の看護師が到着後は、その看護師が対応。  
簡易ベッド1台、衝立、救急箱、AED、体温計、血圧計、毛布等を配置する。

防疫資材配布

受付をした防疫作業者に防護服2着、帽子1枚、マスク1枚、薄手手袋1双、厚手手袋1双を配布する準備をする。

- ・防護服等のサイズが分かりやすいように表示、作業者が取りやすいように並べ方を工夫する。

防護服への記名及び着用

防護服の前後に記名する準備をする。

- ・長机8台、油性マジック(太文字)20本
  - ・記名の仕方を示すため、見本となる記名済みの防護服を準備、掲示する。
- サンダルの準備  
防疫作業者が使用する移動用サンダルを準備する。

(4) 殺処分開始以降の運営

グループ構成(動員職員到着前)

リーダー	畜産振興課	1名
サブリーダー	畜産振興課	1名
構成員	農林事務所	13名
	家畜防疫対策班	1名
	農林水産部	4名
	防災・危機管理部(総括班)	2名
	防災・危機管理部(情報班)	2名
	市町村	4名
	連絡員(家畜防疫対策班)	1名
	救護対応	2名(保健師・外部委託看護師到着まで)

(動員職員到着後)

リーダー	畜産振興課	1名
サブリーダー	畜産振興課	1名
構成員	農林事務所	13名
	家畜防疫対策班	1名
	防災・危機管理部	3名
	防災・危機管理部(総括班)	2名
	防災・危機管理部(情報班)	2名
	農林水産部	4名
	市町村	4名
	連絡員(家畜防疫対策班)	1名
	救護対応	2名(保健師・外部委託 看護師到着まで)

#### ア 農場への出発前

(ア) 防疫支援センターでの防疫作業者の受入  
受付

- ・履物を入れるレジ袋の配布
- ・防疫作業者の人数の確認
- ・動員県職員、農林事務所、他県獣医師、市町村、協定派遣団体職員の名簿を管理し、管理グループへ報告する。
- ・手荷物の預かり

健康確認

- ・防疫支援センター集合前に作業者が記入した健康確認票を回収・確認
- ・未記入の項目については、記載するよう指導
- ・体調異常に係る申し出があった場合には、防疫支援センターのリーダーに対応を引き継ぐ。

資材配布

体温チェックを終えた作業者へ防疫資材(防護服2枚、キャップ1枚、マスク1枚、薄手手袋1双、厚手手袋1双、ゴーグル1個)を配布

防疫作業説明・移動

- ・防護服着脱の説明を行う。
- ・外側防護服には班名と氏名を記入するように指示
- ・防護服2枚と帽子の着用の指示、サポートを行う。
- ・移動用サンダルを着用させ、駐車場へ移動
- ・作業者を農場行きバスに誘導する。

#### イ 農場から帰還後

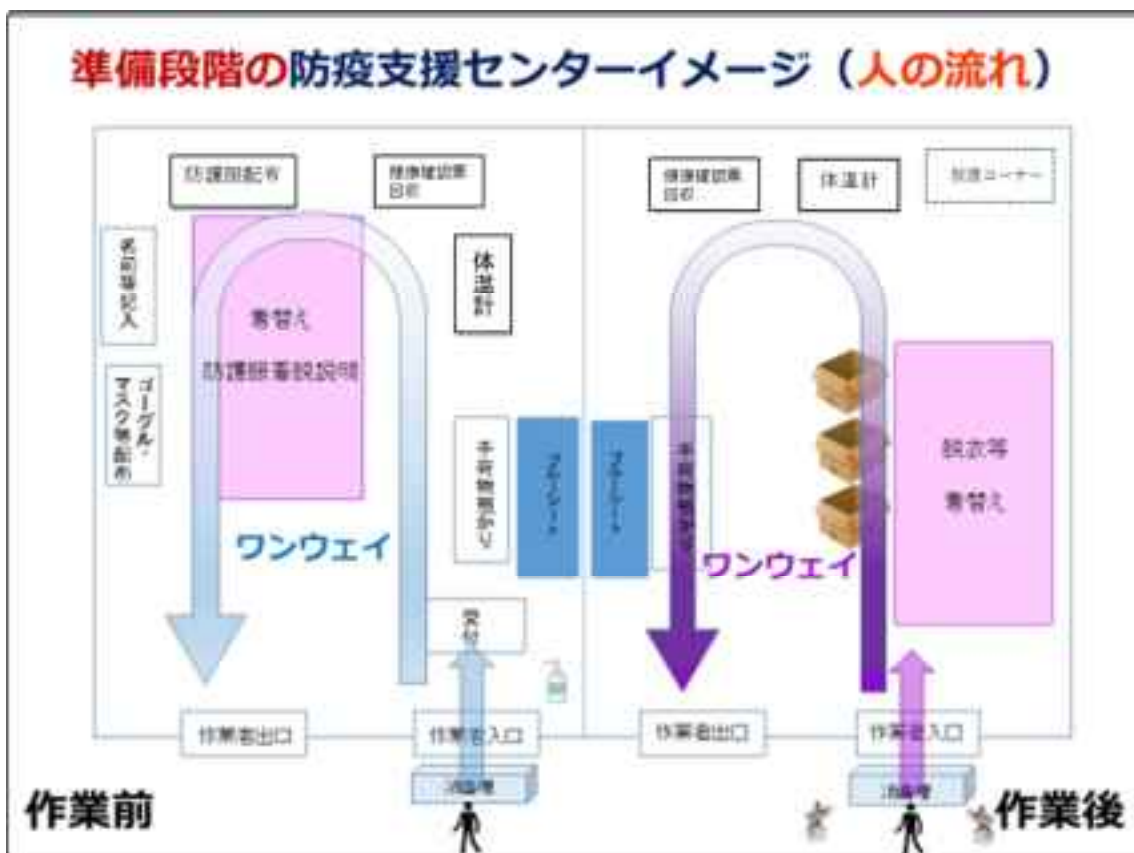
(ア) 農場から戻った作業者の消毒

発生地から戻った防疫作業者の消毒

- ・降車した作業者のサンダル底を手押しポンプで消毒
- ・消毒用マットを通り、うがい・手洗い用テントに誘導、手指の消毒・う

がいを指示

- ・ 防疫支援センター内へ誘導  
防疫作業者の人数確認
- ・ サポート拠点等に残っている人がいないか確認  
防護服の脱衣、着替えを指示  
健康確認
- ・ (4)アの(ア)の に同じ  
手荷物について氏名、所属等を確認しながら返却する  
作業終了者の受付、名簿等による確認  
県庁行きバスへ誘導  
防疫支援センターイメージ(人の流れ)



ウ その他の作業

(ア) 出入り車両の消毒

- ・ 防疫支援センター入口に到着したバス等の車両消毒

(イ) 情報の掲示

- ・ 発生農場の概要(見取り図)、防疫作業の進捗状況等ホワイトボードに掲示

(ウ) サポート拠点及び家畜防疫対策班との資材、動員職員の人数・時間等の情報共有

(エ) 消耗品の交換・補充

- ・ 踏込消毒槽、消毒マット、フォグマスター、手押しポンプ及び動力噴霧



器等の消毒薬の交換、補充

- ・履物を入れるレジ袋、荷物管理用袋の補充
- ・防疫資材（防護服、帽子等）の確認と補充
- ・手洗い場の石鹸、消毒薬、うがい液、コップ、ペーパータオル等の補充
- ・防疫資材廃棄用容器、コップ、ペーパータオル等廃棄物の処分

## 2 発生農場サポート拠点

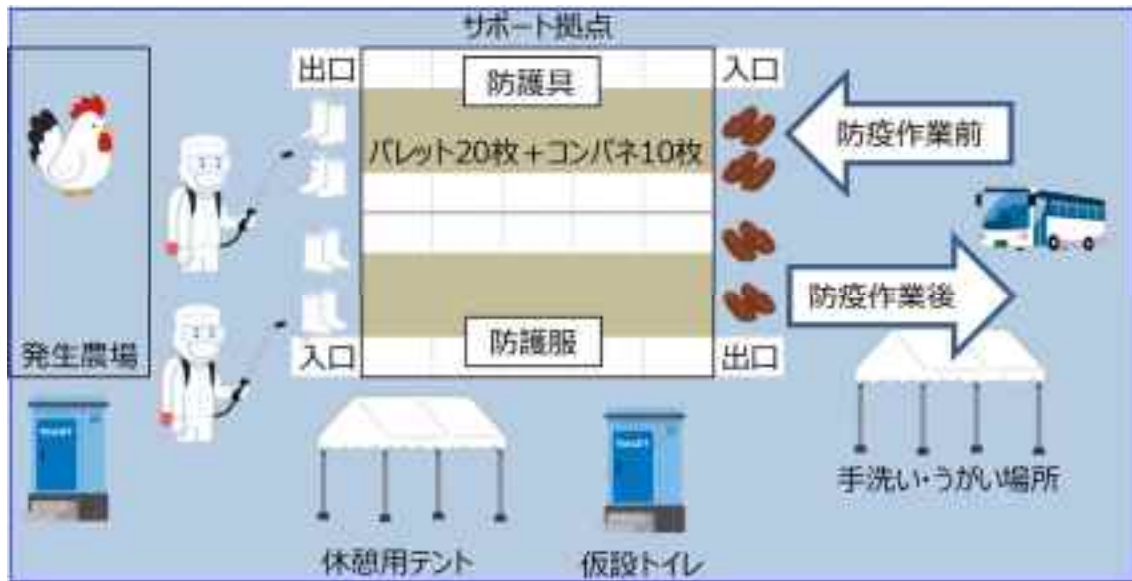
### (1) 設置の目的と設営条件

#### ア 目的

- ・防疫作業者が発生農場へ出入りする際の支援・補助
- ・防疫資材の受入れ、管理、支援センターへの連絡窓口
- ・防護具（マスク、手袋、ゴーグル等）の着衣・脱衣
- ・防疫作業者のスケジュールの管理、作業終了や休憩等の連絡・調整
- ・救護者の消毒・応急処置

#### イ 設営条件

- ・発生農場サポート拠点は原則として発生農場の衛生管理区域外に設営する。
- ・「清浄エリア」と「グレーゾーン」に区分して設営する。（下図参照）



### (2) グループ構成

殺処分開始前(準備)

リーダー	畜産振興課	1名
サブリーダー	畜産振興課	1名
構成員	家畜保健衛生所	2名
	現地農林事務所	2名
	防災・危機管理部(総括班)	1名
	市町村	2名

(3) 殺処分開始前(遺伝子検査陽性時以降)

ア 清浄エリアの準備

(ア) 長時間作業従事者専用休憩用としてテント(4張)長机16脚、パイプいす64脚、救護場所としてテント(1張)長机2脚、パイプいす4脚、手洗い・うがい用にテント(1張)長机2脚を設置する。テント、長机及びパイプいすは市町村等が準備する。

(イ) 簡易トイレを設置

休憩場所および簡易トイレについては、農場内にも設置する。

(ウ) 個人防護服着衣・脱衣場所を準備する。

レーンの設置

- ・レーンは入場レーン(着衣)退場レーン(脱衣)の2列を準備する。
- ・各レーンにテント2張(合計4張)設置する。
- ・各レーンにパレット20枚を縦長に設置し、その上に防疫作業者が歩くコンパネ10枚を敷く。

入口と出口の表示

レーンには「入口」「出口」の標識を貼ったカラーコーンを設置し、明確に表示する。カラーコーンは備蓄センターから搬入する。

入場レーン

防疫作業者は、清浄エリアの入場レーンで防護具を装着し、グレーゾーンを経て、汚染ゾーンの発生農場に入り防疫作業を行う。

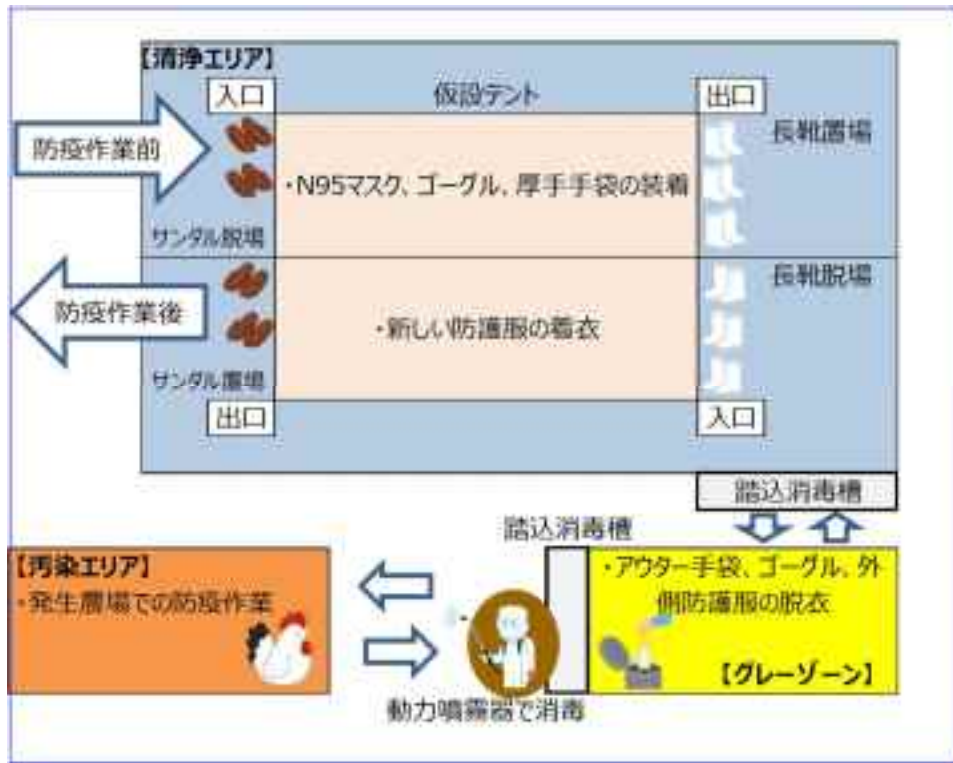
- ・サンダル脱ぎ場をレーン入口に設置する。防疫作業者はここで履いてきたサンダルを脱ぎ、レーン内に入る。
- ・テント内に交換用のマスク、ゴーグル、インナー手袋、アウター手袋及び目張り用のテープを準備する。
- ・会議用長机や段ボールなどを並べ、その上に装着する順番(マスク ゴーグル インナー手袋 アウター手袋)に防護具を並べる。
- ・各資材の資材名が判るように表示する。手袋はサイズが防疫作業者にわかるように表示して取りやすいようにする。
- ・レーン出口に長靴置場を設置する。マスク、ゴーグル等の装着を終えた防疫作業者はここで長靴を履き、長靴およびアウター手袋をテープで目張りする。

退場レーン

グレーゾーンで外側防護服を脱衣した防疫作業者は、清浄エリアの退場レーンを通り、発生農場サポート拠点を抜ける。

- ・長靴脱ぎ場をレーン入り口に設置する。防疫作業者は、ここで長靴を脱いで清浄エリアに入る。
- ・内側防護服を廃棄する廃棄用容器(フレコンバッグ等)を準備する。
- ・防疫作業者が内側防護服を脱衣した後、移動用に着衣するための防護服を準備する。
- ・レーン出口に、防疫作業者が防疫支援センターに移動するためのサンダルを用意する。
- ・手洗い又は手指の消毒コーナー、うがいコーナーを設置する。

サポート拠点のエリア分け



イ グレーゾーンの準備

汚染エリア（防疫作業を実施する畜舎等）と清浄エリア（発生農場サポート拠点）の境界にグレーゾーンを設置する。防疫作業者が防疫作業を終え、汚染エリアを出た直後、清浄エリアに入る前に身体の消毒を行う。

防疫作業者はゴーグル、マスク等を着用したままグレーゾーンに入るので、以下の準備を行う。

- (ア) 汚染エリアからグレーゾーンに入る入口に踏込消毒槽を設置  
長靴の消毒を行う。
- (イ) 踏込消毒槽より先に動力噴霧器またはゲート式消毒器を設置  
防疫作業者の全身を消毒する。
- (ウ) 動力噴霧器の先に防疫資材廃棄用の容器を設置  
外側防護服、アウター手袋、インナー手袋、マスク、ゴーグルを廃棄する。

(4) 殺処分開始以降

グループ構成(動員職員到着前)

リーダー	畜産振興課	1名
サブリーダー	畜産振興課	1名
構成員	農林事務所	5名
	農林水産部	2名、家畜防疫対策班2名、市町村1名
	連絡員(家畜防疫対策班)	1名

(動員職員到着後)

リーダー	畜産振興課 1名
サブリーダー	畜産振興課 1名
構成員	農林事務所 5名 農林水産部 2名、家畜防疫対策班 2名、市町村 1名 防災・危機管理部(総括班) 1名 連絡員(家畜防疫対策班) 1名 防災・危機管理部 2名

#### ア 発生農場サポート拠点の運営

##### (ア) 防疫作業者の最終準備

- ・防疫作業者を入場レーンに誘導する
- ・作業者の人数と作業時間を確認し、発生地グループリーダーに連絡する
- ・サンダルを脱がせてパレット上に誘導後、防護具等の着衣の説明を行う
- ・アウター手袋、長靴の目張りのサポートを行う
- ・グレーゾーンから汚染エリアへ誘導する

##### (イ) 作業後の消毒等

###### グレーゾーンでの作業

- ・作業終了後の防疫作業者に対し、グレーゾーン入口で踏込消毒槽を通るように指示
  - ・長靴の底を動力噴霧器で消毒
  - ・動力噴霧器で作業者の全身を消毒(発生地グループ消毒担当者が実施)
  - ・アウター手袋や長靴の目張りを剥がすサポートを行う( " )
  - ・アウター手袋、ゴーグルの脱衣を指示、外した手袋、ゴーグルは廃棄用容器に廃棄するよう指示
  - ・内側防護服には触らないように外側防護服を脱ぎ、廃棄用容器への廃棄するよう指示
  - ・インナー手袋をアルコールスプレーで消毒
  - ・内側防護服のフードを降ろし、マスクと帽子を外してフレコンバックに廃棄するよう指示
  - ・インナー手袋を外して廃棄用容器に廃棄するよう指示
- ###### 清浄エリアでの作業
- ・退場レーン入口で長靴を脱ぐよう指示
  - ・パレット上に誘導し、内側防護服の脱衣とフレコンバックへの廃棄を指示
  - ・移動用の新しい防護服を着用するよう指示
  - ・レーン出口へ誘導、サンダル着衣を指示
  - ・手洗い、うがいを指示

- ・ 休憩用テントまたはバスへ誘導



(ウ) その他

- ・ 班ごとの作業交代時間や休憩時間を、発生地グループのリーダーへ知らせる。
- ・ 防疫支援センターとサポート拠点間の移動用バスの運行管理(防災・危機管理課)
- ・ 防疫資材の管理、補充、不足する場合は支援センターへ連絡
- ・ 発生地グループのリーダーと家畜防疫対策班の情報共有のための連絡調整。(畜産課)
- ・ 鶏及び汚染物品評価記録簿、記録写真を撮影したカメラ等を管理し、農場から撤収する時に管理グループに渡す。
- ・ 踏込消毒槽の消毒液の交換
- ・ サンドル、長靴の管理
- ・ 廃棄防疫資材の処理、廃棄用容器の交換
- ・ 手洗い場の石鹸、ペーパータオルの補充、使用済みペーパーの廃棄
- ・ 翌日に使用する防疫資材の準備、不足する場合は支援センターへ連絡
- ・ 冬季においては使用する暖房器具の管理
- ・ 必要に応じて防疫作業者の熱中症予防(給水等)
- ・ 傷病者の応急対応と防疫支援センター等への連絡
- ・ 給食の管理・補充(家畜防疫対策班資材調達グループへ報告)